

問い合わせ先

第八管区海上保安本部 海洋情報部

監理課 専門官 鈴木 孝志

Tel : 0773-75-7373 (直通)

Tel : 0773-76-4100 (内線2511)



第八管区海上保安本部

平成19年11月29日

日本海西部沿岸のデュアルバッチ海図の発行について

海上保安庁では、平成19年12月から当管内の日本海西部にかかる海図として、デュアルバッチ海図4図(鳥取港至福井港、角島至大社港、福井港至輪島港、大社港至鳥取港)を発行します。

近年、我が国の周辺海域を航行する船舶には外国人船員が増大してきており、また外国人船員は日本語が不慣れなことから、英語で表記した海図が要望されていました。

海上保安庁では、従来から日本語に英語を並記した海図を発行してきましたが、この要望に応じて、英国海洋情報部と連携し、英語だけで表記した海図を平成18年7月から発行しています。

このような英語表記だけの海図は、海上保安庁が編集した海図を英国海洋情報部が印刷したもので、海上保安庁と英国海洋情報部の印章が付されていることからデュアルバッチ海図と呼ばれています。

【参考】

デュアルバッチ海図の特徴

- ・ デュアルバッチ海図の印章 と海図の番号に「JP」が付されています

デュアルバッチ（印章）



海上保安庁 英国海洋情報部

- ・ 従来の海図は陸地の色は灰色で、デュアルバッチ海図の陸地の色はバフ（黄褐色）とされています
- ・ デュアルバッチ海図は英国水路通報、日本の水路通報双方により最新維持ができます
- ・ 国内では、従来の海図と同じ価格（全紙判1枚 3,360円）で、最寄の海図販売所にて購入できます。
- ・ デュアルバッチ海図の内容は、現在発行している従来の海図と縮尺や区域は同じです。

海図に関する日英両国の協力の背景

英国海洋情報部の海図は、英国国内ばかりでなく世界中の港をカバーしており、また、販売網も世界各国に広がっているため、世界的に最も流通しています。これまで、英国海洋情報部は日本の主要港湾及び周辺海域の海図を発行していましたが、海上保安庁が発行した海図を基にして作成しているため、海図の最新維持に3ヶ月ほどの遅れがあり、航海安全上好ましくありませんでした。

一方、海上保安庁では外国人船員の増加等により日本近海の英文表記による海図の必要性が増大したことから、平成16年1月から英文表記による海図を発行しています。このようなことから両国海洋情報部において協議した結果、

日本が発行している英文表記の海図に日英両国の印章を付して、従来の海図販売網に加えて、英国の海図販売網からも販売する。

英国は、日本周辺海域の海図の発行を止める。

の2点について合意しました。

その合意内容を明記した協力枠組み文書の署名が、平成18年3月17日に、日英両国の海洋情報部長により行われました。

海図販売に関する日英協力のメリット

日本の最新の海図が全世界に広がる英国の販売網を通じて入手することができ、日本近海の航行安全に寄与することが期待されます。

刊行時期、対象海域

平成18年7月・8月の東京湾海域の14図以降、現在78図が刊行されています。
今後、日本海沿岸など平成19年12月まで6図があらたに刊行されます。

